

[5年生]

[しゃてき]



[くじびきで つくる]



[おほえて いそげ]

[おほけたいじ]



[こうさくきょうしつ]

[きょく おと あて ゲーム]



[ペットボトル ボウリング]

[とびだすフーフーくん づくり]



[たから さがし]



[5年生]



[準備した児童のコメント]

「工作で、男の子用と女の子用を用意していて、女の子のほうがたくさん来ると思って準備していたけど、思ったより男の子が来て、足りなくなってしまった」
 「人がたくさん来すぎて、案内するのがすごく大変になってしまった」



[6年生]



体育館では、アスレチックや的当てなど思いっきり体を動かす出し物がそろっていました。ボウリングの長いレーン、跳び箱や玉入れのかご、巨大なまなど、スケールの大きいお店ばかりでした。体育館に入った瞬間に思わず感嘆の声が出てしまう子もいました。誰もが楽しめるように、簡単なのに達成感を味わえるような工夫がしてありました。



各教室や渡り廊下では「順番を覚えて」や「10秒チャレンジ」など、順位を公開して盛り上げていました。また、学校全体を使ったゲームや、ダンボールを駆使して複雑なコースを作るなど、クオリティの高い出し物ばかりでした。「自分好みのしおりを作ろう」では、本をたくさん読んでほしいという6年生のメッセージが込められていました。



6年生は、誰に対しても丁寧な説明でお客さんを迎えていました。元気な声で「いらっしゃいませ!」「来てくれてありがとう!」「楽しんでいってね!」や「一緒にやろう!」「がんばったね!」「すごい!」など優しい言葉が溢れていました。

6年生はこれが最後の「なかよしフェスティバル」なので、みんなを楽しませたい気持ちと、できるだけたくさんのお店に参加して楽しみたい気持ちがあったと思います。その真摯な想いが他の学年の子どもたちにも伝わったからか、最初から最後まで学校中に笑顔が溢れていました。

[トレジャーハンター]



[自分好みのしおりを作ろう]

